



2013年11月1日

各 位

会 社 名 : 株式会社ゼンショーホールディングス
 代表者名 : 代表取締役会長兼社長 小川 賢太郎
 (コード番号 7550 東証第1部)
 問合せ先 : グループ財務本部長 福元 哲朗
 (TEL : 03-6833-1600)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、直近の業績動向等を踏まえ、2013年5月14日に公表いたしました2014年3月期第2四半期累計期間(2013年4月1日～2013年9月30日)の連結業績予想及び2014年3月期 通期(2013年4月1日～2014年3月31日)の連結業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

第2四半期累計期間(2013年4月1日～2013年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	236,030	9,968	9,072	3,194	26.38円
今回修正予想(B)	227,649	4,342	4,123	404	3.34円
増減額(B-A)	△8,381	△5,626	△4,949	△2,790	—
増減率	△3.6%	△56.4%	△54.6%	△87.3%	—
前期第2四半期(累計)実績	205,618	8,917	8,146	3,176	26.23円

通期(2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	473,927	18,863	17,232	6,259	51.70円
今回修正予想(B)	454,406	8,327	7,454	571	4.72円
増減額(B-A)	△19,520	△10,535	△9,777	△5,688	—
増減率	△4.1%	△55.9%	△56.7%	△90.9%	—
前期通期実績	417,577	14,736	13,873	5,058	41.77円

修正の理由

当第2四半期累計期間の売上高につきましては、既存店売上高前年比が当初予想100.8%に対し97.0%であったことが主要因で、当初予想を下回る見込みです。収益面につきましては、既存店売上高が想定を下回ったこと及び食材価格や電気料金の上昇等に加え、経営改革の途上にある株式会社マルヤ及び在外子会社であるCatalina Restaurant Group Inc.の業績の影響もあり、当初予想を下回る見込みです。なお、四半期純利益につきましては、株式会社マルヤおよびCatalina Restaurant Group Inc.の損失分の税効果がとれないことによりその水準を押し下げる結果となっております。

通期の売上高につきましては、第2四半期累計期間の業績動向を勘案し、既存店売上高前年比の想定を101.7%から98.0%に変更したことが主要因で、当初予想を下回る見込みです。収益面につきましても、食材価格・電気料金の高止まり等厳しい経営環境が継続することが予想されることから、当初予想を下回る見込みです。また、当期純利益におきましては、株式会社マルヤおよびCatalina Restaurant Group Inc.の損失分の税効果がとれないことによりその水準を押し下げる見込みであります。

※ 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上